「宮園自治会自主防災会」略年表

令和６年（２０２４年）１月吉日
宮園自治会自主防災会

昭和３４年（１９５９年）
　　９月　伊勢湾台風（９月２６日）の襲来
　３６年（１９６１年）
　　１１月　「災害対策基本法」の制定　⇒県に災害対策協議会、市が防災会
　　（市長が会長、市職員が委員、自治会長は防災連絡員）を立上げ
　５１年（１９７６年）
　　９月　**宮園自治会の設立**　（武井会長）
　６１年度（１９８６年）
　　６月　**宮園自主防災会の立上げ**　（及川会長）
　　市役所へ登録（市内で５５番目）
　６２年（１９８７年）
　　１月　市から自主防災機材（街頭消火器４８、メガホン、担架等）を入手
　　９月　**自治会初めての防災訓練**の１号公園で実施　（及川会長）
　６３年（１９８８年）
　　１０月　**防災訓練**を２号公園で実施　（及川会長）
平成　４年（１９９２年）
　　９月　**防災訓練**を１号公園で実施　（池見会長）
　７年（１９９５年）
　　１月　阪神淡路大震災（１月１７日）国は「災害対策基本法」　（池見会長）
　　を見直し、「自主防災組織規定」を制定
　　２月　同震災へ宮園自治会として義援金１０万円を実施
　８年（１９９６年）
　　２月　市の防災リーダー研修会が文化会館で開催　（池見会長）
　　３月　宮園地区消防訓練を１号公園で実施
　１１年（１９９９年）
　　２月　消防救急訓練を１号公園で実施　（市川会長）
　１２年（２０００年）
　　１１月　**防災訓練**を１号公園で実施　（天満会長）
　１４年（２００２年）
　　１２月　消火・救急訓練講座　（天満会長）

平成１５年（２００３年）

１２月　防災訓練講座を開催　「防犯パトロール」を開始　（初野会長）

１６年（２００４年）

１１月　**防災訓練を１号公園で実施　４年ぶり**　１００名を超す参加者

（初野会長）

１７年（２００５年）

５月　県西部防災センターへ体験見学会　３０名が参加　（初野会長）

８月　流山市総合防災訓練（於八木南小学校校庭）は台風のため中止

１１月　**防災訓練**を１号公園で実施　８４名が参加

１８年（２００６年）

２月　運営委員会で自主防災組織検討会の立上げを承認　（初野会長）

３月　防災用具の一部購入

２０年（２００８年）

８月　流山市総合防災訓練（於八木南小学校校庭）は悪天候のため中止

（市川会長）

２１年（２００９年）

５月　運営委員会にて**「防災対策推進専門委員会」を立上げ**　（河村会長）

７月　同　委員会委員を選出

１丁目４名、２丁目８名、３丁目１１名、運営委員３名　計２６名

８月　第１回防災対策推進専門委員会　役員選出

委員長：佐久間さん、幹事：中谷さん、鶴谷さん、鵜沢さん

１１月　**防災訓練を１号公園で実施　４年ぶり**　参加者１５０名

２２年（２０１０年）

３月　防災対策推進専門委員会にて自主防災会の

規約・防災計画・組織等の検討始まる

５月　規約・防災計画等が完成し、防災会の基本計画固まる　（河村会長）

「宮園自主防災マニュアル」の検討始まる

６月　運営委員会にて規約・防災計画などを承認

⇒**「宮園自治会自主防災会」の立上げ**

７月　自主防災会の防災班員の募集　１５名が応募

９月　県西部防災センターの体験見学会を再開　４０名が参加

災害時避難の手助け希望者６７名とのヒアリング始まる

１０月　**第１回普通救命講習会**　２回開催　延べ３０名が参加

１１月　**防災訓練**を１号公園で開催　２００名が参加

東洋学園大学へ避難訓練

平成２３年（２０１１年）

１月　災害時の要援護者は３１名となる（３６名が辞退し支援者にまわる）

２月　平成２２年度防災用具購入　８００千円（自治会館の防災用品収納を含む）　⇒　これより防災資機材の点検活動の開始

３月　東日本大震災（３月１１日）　翌朝、**緊急災害対策会議**を開催
安否確認、物的被害報告、要援護者対策など　委員３１名が出席

４月　同震災へ義援金１１０万円（自治会１０万円、個人募金９４万円、サークル６万円）を実施（相馬市と日本赤十字社と折半して）

６月　防災センター体験見学会　４０名が参加　（小林会長）

７月　宮園自治会自主防災会規約の一部改訂
災害対策本部の設置、本部員の任務など

８月　**「宮園自主防災マニュアル」を全戸へ配布**
防災班員の募集　３名が加わり、自主防災会は総勢約１００名になる

９月　**第１回防災講習会**　５２名が参加
宮園の避難場所を明示：
地震時⇒東洋学園大学　水害時⇒生涯学習センター

１０月　第２回普通救命講習会　２回　３１名が参加

１１月　**防災訓練**　１５０名が参加　第１部は１号、２号公園に分かれて実施

２４年（２０１２年）

１月　災害時の要援護者の希望調査　２６名から３５名に増える

２月　防災センターの体験見学会　３０名が参加
平成２３年度防災用具購入　３００千円

６月　防災センターの体験見学会　（諸岡会長）

８月　住宅用火災警報器の斡旋

９月　防災講習会　６９名の参加
応急手当訓練
防災班員の募集　５名が加わる

１０月　普通救命講習会　２回　３１名が参加

１１月　**防災訓練**　１５０名が参加　第１部は１号、２号公園に分かれて
地震による家屋倒壊、火事発生を想定して総合訓練
要援護者の参加　給食訓練で豚汁が出る

２５年（２０１３年）

１月　災害時の要援護者の希望調査　３５名から４３名に増える

２月　防災センターの体験見学会　３２名が参加
平成２４年度防災用具購入　３６１千円

市から防災資機材補助金　６１千円あり

５月　ゴミ集積所に水入りペットボトル活用を住民へ呼び掛け（鈴木会長）

６月　防災センターの体験見学会　２７名が参加

７月　運営委員会にて自主防災会規約の一部改定を承認

規約を「規則」に変更　自主防災会を自治会会則の専門委員会に

位置付け　事業、防災計画等の追加　組織を２から３ブロックへ

⇒これに伴い「防災対策推進専門委員会」は発展的に解消し、

「宮園自治会自主防災会」が専門委員会として一本化

９月　防災講習会　６６名が参加

応急手当訓練　防災会役員３０名が参加

自主防災会の班員募集（新たに１２名が加わる）

１０月　救命講習会　２回　２８名が参加

流山市総合防災訓練（於総合運動公園）

市内の全自主防災会を代表して唯一参加　悪天候の中５１名が参加

１１月　**防災訓練**　１７２名が参加　内容は前年とほぼ同じ

防災センターの体験見学会　１９名が参加

平成２６年（２０１４年）

１月　災害時の要援護者の希望調査　４０名で変わらず

２月　平成２５年度防災用具購入　４９５千円（防災用具収納庫を含む）

市から防災資機材補助金　１００千円あり

８月　防災センター体験見学会　３５名が参加　（猪俣会長）

防災講習会　５４名が参加

９月　応急手当訓練　２５名が参加

防災班員の募集　２名が加わる

１０月　普通救命講習会　２回で３１名が参加

１１月　**防災訓練**　１３２名が参加　内容は前年とほぼ同じ

２７年（２０１５年）

１月　災害時の要援護者の希望調査　新たに３名が加わり４０名

２月　平成２６年度防災用具購入　３９４千円（２号公園の防災用品収納庫を含む）

別途市から防災資機材補助金　１００千円あり

４月　**初めて**訓練別・担当別の**「個別訓練」**活動の開始　（秦　会長）

偶偶数月に実施

７月　避難訓練（水害時）の実施　宮園から３ブロックに分かれて

生涯学習センターへ

８月　防災センター体験見学会　３５名が参加

９月　防災講習会　「市の防災対策」　防災危機管理課鶴巻浩二課長
６０数名が参加
応急手当訓練
防災班員の募集　１名が加わる
１０月　**自治会ニュース特別号「宮園自治会自主防災会の歩みと現状」**を発行
普通救命講習会　２回で２８名が参加
１１月　**総合防災訓練**　１８０名余りが参加　１号公園で　内容は前年とほぼ同じ　公園での避難訓練の後、**初めて「スタンドパイプ消火器具による放水訓練」**を実施　みやぞの野鳥の池の周辺２ヶ所で

平成２８年（２０１６年）
１月　災害時の要援護者の希望調査　現在３７名
５月　震災時の初期活動訓練　防災役員向け　４０名が参加　（高橋会長）
７月　全戸参加の震災時の初期活動訓練（安否確認を含む）　６０名が参加
８月　防災センターへ体験見学会　参加者４０名（うち子供８名）
９月　防災講習会　・「暮らしに役立つ自信の話」　千葉防災士会幹事
矢野良明さん　・「阪神淡路大震災の体験談」　中谷さん（２丁目）　影山さん（２丁目）　７０名以上が参加
応急手当訓練　防災役員が対象
１０月　普通救命講習会　２回で延べ２４名が参加
１１月　**総合防災訓練　初めてシェイクアウト訓練、安否確認訓練**を実施
多数の参加者　班長の協力により短時間で全世帯の約８割の安否確認が出来た

２９年（２０１７年）
２月　災害時に援護を希望される方の希望調査　現在２７名
５月　スタンドパイプ放水訓練　多数の参加者　（高橋会長）
８月　防災センターへ体験見学会　参加者３２名
９月　防災講習会　「流山市の防災対策」　市防災危機管理課鶴巻浩二課長
「耐震診断、家具の転倒防止」　市建築住宅課　岡田さん他１名
「住宅火災」　南消防署　秋元さん他２名　　たくさんの参加者
応急手当訓練　防災役員を対象に
１０月　普通救命講習会　２日間で延べ３１名が参加
１１月　**総合防災訓練**　安否確認、シェイクアウト訓練、コンクール方式の防災訓練、スタンドパイプ放水訓練、東洋学園大学への避難訓練、給食訓練など　　参加者１８５名

３０年（２０１８年）
２月　災害時に援護を希望される方の希望調査　現在２７名

５月　スタンドパイプ放水訓練　５０名が参加者　　（高橋会長）

８月　防災センターへ体験見学会　参加者３３名

９月　防災講習会　「予想される災害と避難」　市防災危機管理課　鶴巻浩二課長　於思井福祉会館　７０数名が参加

班員募集

応急手当講座　防災役員を対象に

１０月　普通救命講習会　２日間で延べ２３名が参加

１１月　**総合防災訓練**　自宅での訓練（シェイクアウト訓練、安否確認）

１号公園で個別訓練、チーム別訓練（1チーム９人、３チームで）

水バケツ消火訓練、スタンドパイプ放水訓練、東洋学園第２体育館へ避難訓練　　１５０名を超える参加者

平成３１年／令和元年（２０１９年）

５月　スタンドパイプによる消火栓からの放水訓練　　（高橋会長）

参加者６０名

６月　水害対策訓練の実施　水害対策本部の設置　パソコン・携帯メール等による情報収集・伝達訓練　災害時要支援者の避難訓練（４名の要支援者を車で生涯学習センターへ）　一般住民は声かけ合って学習センターへ　アンケートの実施　　７０名を超える参加者

８月　防災センターへ体験見学会　参加者４６名（うち子供８名）

９月　防災講習会　「流山市の水害対策（江戸川・坂川の浸水対策）」　　市危機管理課　大津真規課長　参加者６８名

９月　班員の募集の呼びかけ　９名が新たに加入

１０月　普通救命講習会（第１回）　防災会役員を対象に

１１月　普通救命講習会（第２回）　住民へ呼掛けして　２回で延べ２０名が参加　今回で宮園の「普通救命講習」修了者は延べ２８０名に達した

１１月　**総合防災訓練**　自宅での訓練（シェイクアウト訓練、玄関先にタオル掛け、安否確認）、１号公園で個別訓練、チーム別訓練（1チーム９人、３チームで）、東洋学園第２体育館へ避難訓練　参加者１６０名

令和　２年（２０２０年）

１月　井崎市長から宮園自治会へ、日頃の地域防災活動を評価され**感謝状が贈呈**され、佐久間本部長が受け取る

１月　災害避難時の支援希望者調査の実施　３月末現在３４名

４月　自治会定期総会は**新型コロナウィルス**の影響により中止（高橋会長）

７月　今年度の防災センターへの体験見学会、防災講習会、救命講習会、総合防災訓練は新型コロナウィルスの影響で中止を決定

なお、１０月、１月、２月の１号公園での防災資機材の点検、取り扱

い訓練は実施する

９月　市は水害時の避難所の指定を変更　市は「広報ながれやま」（９月１１日号）で新たな避難所をした。これにより宮園地区の水害時の避難所は、警戒レベル１，２，３（避難準備・高齢者などの避難開始）では従来の「生涯学習センター」から「キッコーマンアリーナ」へ変更になった。警戒レベル４（避難勧告・避難指示）では従来通り「生涯学習センター」

１０月　住民へ、「水害時の避難所の指定変更」（保存版）を全戸に配布

令和　３年（２０２１年）

１月　災害時の支援希望調査の実施　３月末の支援希望者は３１名

４月　新型コロナウィルスの影響を受け、予定していた　（高橋会長）
次の行事を中止した。スタンドパイプ消火器具の取り扱い
訓練（５月）、防災講習会（９月）、普通救命講習会（１０月）、
総合防災訓練（１１月）

８月　プロジェクトチームによる「水害対策マニュアル」が完成し、
全戸に配布

９月　地震時の避難所の変更　従来の旧東洋学園大学の第２体育館は、
天井が釣り天井で危険性あり、安全基準にがっちの確認が取れるまで
「八木南小学校」に変更になった

９月　「八木南小学校避難所運営マニュアル」のプロジェクトチームによる
検討、作成の開始

４年（２０２２年）

１月　災害時の支援希望調査の実施　３月末の支援希望者は３０名

３月　今期の防災個別訓練（投光器操作、消火・救出救護、仮設トイレ等）
を年間３回、防災資機材の点検を年間６回実施する旨発表

４月　新型コロナウィルスの影響を受け、予定していた　（高橋会長）
次の行事を中止した。スタンドパイプ消火器具の取り扱い
訓練（７月）、防災講習会（９月）、総合防災訓練（１１月）

５年（２０２３年）

１月　災害時の支援希望調査の実施　３月末の支援希望者は３１名

２月　地震時の避難所を令和６年（２０２４年）４月から「八木南小学校」
から「旧東洋学園大学第２体育館」に変更することを決定　それ
れまでは従来通り、八木南小学校体育館とする

４月　「令和５年度自主防災事業計画」を決定　（小野会長）
行事予定、防災個別訓練、防災資機材の点検等のスケジュールの発表

７月　「スタンドパイプ消火器具による放水訓練」の実施

４年ぶりの開催　７月２２日（土）　野鳥の森周辺２ケ所で
南消防署の指導あり　参加者４５名

９月　「防災講習会」の開催　９月２日（土）　関東大震災から１００年の防災週間に　講師は市危機管理担当　小山規夫氏〝暮らしの中の防災〟　参加者６２名

１１月　**総合防災訓練**　　１１月４日（土）　**４年ぶりの開催**　１８０名を超える参加者　　南消防署７名　　訓練内容：シェイクアウト訓練、安否確認訓練（５７班のうち５３班から報告あり）、南消防署の指導による個別訓練、住民による総合防災訓練、給食訓練

令和６年（２０２４年）

１月　**能登半島地震**（１月１日）

（文責　河村　栄夫）